

見積競争の公告

国立大学法人筑波大学において、次のとおり見積競争を実施します。

1. 見積競争に付する事項

- (1) 件名 Illumina 社 Infinium Asian Screening Array BeadChip を用いた網羅的 SNP 解析
- (2) 業務内容 仕様書のとおり
- (3) 完了期限 令和6年5月31日

2. 仕様書等関係書類交付方法

仕様書等関係書類は、本公告に添付する。

3. 見積書の提出場所等

- (1) 場所 茨城県つくば市天王台一丁目1番1
国立大学法人筑波大学財務部契約課
- (2) 連絡先 (担当) 赤川 電話番号 029-853-5099
- (3) 見積書提出期限 令和6年1月11日 12時00分
見積競争結果については、電話等により行う。

4. 見積の方法

- (1) 国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び役務提供契約基準を熟知し、仕様書及び契約条項を承諾のうえ、見積るものとする。
- (2) 契約決定に当たっては、見積書に記載された金額に10パーセントに相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって契約金額とするので、見積者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額で見積るものとする。
また、見積書には1検体当たりの単価を記載すること。

5. 見積競争に参加する者に必要な資格

- (1) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程(以下「規程」という。)第46条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 規程第47条の規定に該当しない者であること。
- (3) 国の競争参加資格(全省庁統一資格)又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格のいずれかにおいて令和5年度に関東・甲信越地域の「役務の提供等」の「A」、「B」、「C」又は「D」等級に格付けされている者であること、又は当該資格を有しない者であって、過去1年以内に本学との取引実績を有する者であること。
- (4) 契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

6. 契約の方式

- (1) 最低価格の見積書を提出した者及び次順位者を契約予定者として、価格交渉を行う。
- (2) 契約予定者との価格交渉により、本学の希望価格の範囲内において最低価格を提示した契約予定者を契約の相手方とし、契約金額を決定する。

以上

令和5年12月28日

国立大学法人筑波大学
契約担当役
財務担当副学長 奈良 哲

見積書提出の注意事項

- 1 見積書提出期限 令和6年1月11日12時00分
(郵便(書留郵便に限る。))又は宅配便(以下、「郵送等」という。)で
発送する場合には提出期限までに必着のこと)
提出場所 〒305-8577
茨城県つくば市天王台一丁目1番1
国立大学法人筑波大学財務部契約課 赤川
電話番号:029-853-5099
- 2 見積書作成の注意
 - (1) 見積金額は算用数字を用いて明確に記入すること。
 - (2) 住所氏名を記入し押印すること。
 - (3) 日付を必ず記入すること。
- 3 上記注意事項に適合しない見積書は無効とすることがある。
- 4 契約決定に当たっては、見積書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって契約金額とするので、見積者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載すること。
また、見積書には1検体当たりの単価を記載すること。
- 5 いったん提出された見積書は引換え、変更、取消しをすることができない。
- 6 競争参加資格のための確認書類
この見積競争に参加を希望する者は、競争参加資格の確認のための書類を見積提出期限までに提出すること。
なお、本学職員から当該書類その他公告において求められた条件に関し、説明を求められた場合には、競争加入者又は代理人の負担において完全な説明をしなければならない。
 - ・令和5年度に係る一般競争(指名競争)参加資格審査結果通知書
(全省庁統一資格又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格)の写し
 - または過去1年以内に本学との取引実績を有することを証明する書類・・・1部
 - ・Infinium Asian Screening Arrayによる解析実績を1,000検体以上有していることを証明する実績表・・・1部
 - ・Infinium Asian Screening Arrayとこれに類似するアレイの解析実績を有していることを証明する実績表・・・1部
 - ・バックアップのために、Illumina社製iScanを2台以上保有していることを証明する書類・・・1部
 - ・検体の取り違えやデータの入れ違いを防止できる体制であることを証明する体制表・・・1部
 - ・医療関連サービスマークとISO15189の認定を受けている解析施設であることを証明する書類・・・1部

7 この契約に必要な細目は、以下によるものとする。

- ・ 国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則

<https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-03/>

- ・ 役務提供契約基準

<https://www.tsukuba.ac.jp/about/bid-contract/#kijun>

仕様書

1. 請負件名 Illumina社Infinium Asian Screening Array BeadChip を用いた網羅的SNP解析
2. 業務内容 詳細別紙のとおり
3. 実施期間 契約締結日～令和6年5月31日
4. 予定数量 最大288検体
5. 納入場所 国立大学法人筑波大学 医学学系棟 312室
6. 納品 請負者は、業務完了時に作業報告書及び解析データを提出し、当該研究代表者の納品確認をもって納品が完了したものとする。
7. 支払い 請負代金は、検査終了後、適法な請求書を受理した日から起算して40日以内に支払うものとする。なお、請負代金は、1検体あたりの単価に解析を実施した検体数を乗じて得た額とする。
8. 契約に必要な細目 本契約に必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び役務提供契約基準によるものとする。
9. 受託解析機関に求める要件
 - (1)Infinium Asian Screening Array による解析実績を1,000 検体以上有していること。
 - (2)Infinium Asian Screening Array とこれに類似するアレイの解析実績を有しており、それぞれのメリット・デメリットを説明できること。
 - (3)バックアップのために、Illumina 社製 iScan を2台以上保有していること。
 - (4)検体の取り違えやデータの入れ違いを防止できる体制で実施すること。(検体や試薬を全てID化し、解析中の検体やデータを Illumina LIMS によって制御管理し、人為的なミスが発生しない管理がなされ、常にデータと検体が同じものである事が保証されること。)

- (5) 測定の実施履歴を正確に記録するため、測定 of 各タスクについて実施履歴情報(担当者、時刻、プレート ID、試薬 ID、チップ ID など)が、Illumina LIMS によるコンピュータシステム内に自動的に保存され、その情報のバックアップが日々実施されること。
- (6) 解析処理には、人為的なばらつきを抑えデータの精度を高めるため、自動分注機を用いること。
- (7) データの劣化を防ぐため、スキャナーによる全検体の測定は、BeadChip 完成後(ステイン処理完了後) 1 日以内に実施すること。
- (8) 測定に利用するコンピュータシステム全体は常時インターネットから完全に隔離されていること。また、スキャン画像の品質(泡やムラの有無など)が十分である事を確認するための対策が採られた環境で実施すること。
- (9) 検体の品質を考慮し国内で実施する。また解析はすべて同一施設内で実施すること。
- (10) 品質管理のため、医療関連サービスマークと ISO15189 の認定を受けている施設で実施すること。

10. その他

- (1) 検体輸送の安全性、納期、解析データの漏洩および解析における疑義が生じた場合、担当者との迅速かつ円滑な協議の実施に努めること。
- (2) 本仕様書における全ての業務で得られた情報は、無断で使用・公開したり、第三者へ提供したりしないこと。
- (3) 本仕様書における解析業務にて得られた解析結果に関わる知的財産権は、全て本学の研究実施者に帰属するものとする。
- (4) 本仕様書に定めない事項に際し疑義が生じた場合には、その都度本学の研究実施者と協議のうえ業務を遂行し、軽微なものについてはその指示に従うこと。
- (5) その他詳細については、本学担当職員の指示によるものとする。
- (6) 本契約に必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び役務提供契約基準によるものとする。

1. 目的

本解析業務では、炎症性肺疾患の遺伝素因に関する研究において、ゲノムDNAサンプルのSNPジェノタイピング解析を行い、ヒトゲノムDNAを網羅的に解析することで個別化喘息発症予測因子を明らかにすることを目的とする。

2. 業務概要

ゲノムDNAサンプルを受領し、Infinium Asian Screening ArrayによるSNPジェノタイピングデータのデータ取得および解析を行う。なお、輸送については代理店が代行し、冷凍便にて受託解析機関へ送付する。

サンプルの形式及びサンプル提出条件:精製ゲノムDNA

- 1) 必要DNA濃度:50ng/ μ L以上(Quant-iT™ PicoGreen Assay Kitによる測定を推奨)
- 2) 必要DNA溶液量:30 μ L以上
- 3) 96ウェルプレートにて、受託解析機関へ提出する。
- 4) 解析に使用した残余検体は返却すること。

3. 業務内容

1) 検体品質評価

- Quant-iT™ PicoGreen Assay Kitによる濃度測定
- アガロースゲルでの電気泳動で分解度合いを確認検体品質評価

2) SNPジェノタイピング解析

- SNPジェノタイピング試薬:Infinium Asian screening Array Kit (Illumina社)
- 使用機器:Illumina社iScan

3) バイオインフォマティクス解析

- 解析ソフトウェア
Illumina GenomeStudio
- SNP解析精度
IlluminaクラスタファイルによるSample CallRateが98%以上(*1)
- ジェノタイプの決定
 - 100 検体未満の場合
 - ・ Illuminaクラスタファイルを使用
 - 100 検体以上の場合
 - ・ Illuminaクラスタファイルを使用し、CallRateを確認
 - ・ CallRateの上昇が見込まれる場合(*2)は、再クラスタリング(*3)を実施し、クラスタポジションを最適化すること。

- (*1) 構造異常やコンタミネーションが疑われる場合を除く。また動植物の場合、検体の状態によってはCallRateが98%を下回ることがあるがやむを得ないものとする。
- (*2) 最低CallRateが99%以上の場合は、状況によっては実施しなくても良いものとする。
- (*3) クラスタリングアルゴリズムは、基本的にGenTrain3.0を使用すること。

4. 提出物

- 1) 紙媒体 (1部): 検体DNA品質検定データ
- 2) 電子媒体 (1部)
 - SNP解析結果
 - ジェノタイプデータ(csvファイル)
 - 関連ファイル
 - 本解析に使用したBeadChip用マーカー設計情報ファイル(csvファイル、Illumina社提供)
 - 中間ファイル
 - GenomeStudioデータ一式(bscファイル)
 - GenomeStudioデータ作成用ファイル一式